

都城市公共施設等総合管理計画 個別施設計画

(3) 社会教育・文化施設

31_図書館

32_美術館

39_その他社会教育文化施設

令和3年1月

目次

1	個別施設計画策定の趣旨及び概要	1
	（1）策定の趣旨	1
	（2）概要	1
	（3）計画期間	1
2	施設の現況と課題	2
	（1）施設の役割	2
	（2）施設の一覧	2
	① 施設の現況一覧（2020（令和2）年3月末現在）	2
	② 施設の配置状況	4
	（3）施設の管理等	6
	（4）施設の課題	6
3	施設整備方針	7
	（1）今後の施設整備の考え方	7
	（2）個別施設方針	8

1 個別施設計画策定の趣旨及び概要

(1) 策定の趣旨

国においては、2013（平成25）年11月に「インフラ長寿命化基本計画」（インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議決定）が策定され、地方公共団体においてもインフラ長寿命化計画（行動計画）・個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定することが期待される中、本市においては、平成29年3月、地方公共団体のインフラ長寿命化計画（行動計画）である「都城市公共施設等総合管理計画（以下、「総合管理計画」）」を策定しました。

今後、総合管理計画等に基づき、社会教育・文化施設（図書館、美術館、その他社会教育文化施設）について施設の状況等を分析し、安心・安全に執務できる環境を確保し、必要なサービスを適切かつ持続可能な形で提供するために、個別施設ごとの長寿命化計画（個別施設計画）を策定するものです。

なお、本計画は、総合管理計画における施設類型及び個別施設ごとの適正化計画として位置付けます。

(2) 概要

本計画は、「総合管理計画第3章3-2-3類型別方針(3)社会教育・文化施設」の方向性に沿いつつ、個別施設の整備に関して今後具体的に推進するための計画を示すものです。

(3) 計画期間

計画期間は、2021（令和3）年度から2025（令和7）年度※までの5年間を第1期とします。

なお、社会情勢の変化、財政状況等を踏まえ、5年ごとに計画の改訂を行います。また、見直しの必要が生じた際は、適宜見直しを行います。

※維持更新費用は、総合管理計画の計画期間に合わせ2017（平成29）年度から2046（令和28）年度までの30年間とします。

2 施設の現況と課題

(1) 施設の役割

① 図書館

図書館は、生涯学習を担う中核施設としての使命を踏まえ、人づくりと地域づくりに役に立つ図書館を目指しています。

図書館では、様々な図書資料を収集し、提供することにより、市民の教養や文化水準を向上させるとともに、収集した図書資料や郷土資料を後世に保存・継承していく役割があります。

また、地域や市民にとって役に立つことや、情報発信拠点として地域の発展に欠かせない存在となるため、図書館サービスの充実に取り組んでいます。

② 美術館

美術館は、美術に関する資料を収集・保存・展示し、調査研究を行う施設です。また、芸術活動を活性化させ、人々の交流の場となる役割も担っています。

③ その他社会教育文化施設

その他社会教育文化施設は、当市の歴史文化に関する情報を提供し、市民に活用してもらう場としての施設です。また、それと同時に地域の歴史文化遺産を保存し、継承していく役割も担っています。

(2) 施設の一覧

① 施設の現況一覧（2020（令和2）年3月末現在）

図書館は、2施設で床面積は合計で8,503㎡となっています。

	施設名称	所在地	建築年度	構造	敷地面積	床面積
①	都城市立図書館	都城市中町 16-15	平成 16 年度	鉄骨造	5,366 ㎡	8,046 ㎡
②	高城図書館	都城市高城町穂満坊 105	平成 21 年度	鉄骨鉄筋コンクリート	—	457 ㎡
総 計						8,503 ㎡

美術館は、1施設で床面積は合計で2,170㎡となっています。

	施設名称	所在地	建築年度	構造	敷地面積	床面積
①	都城市立美術館	都城市姫城町 7-18	昭和 56 年度	鉄筋コンクリート	4,682 ㎡	2,170 ㎡
総 計						2,170 ㎡

その他社会教育文化施設数は、8 施設で床面積は合計で 5,620 m²となっています。

	施設名称	所在地	建築年度	構造	敷地面積	床面積
①	都城歴史資料館	都城市都島町 803	平成元年度	木造	7,534 m ²	1,026 m ²
②	山之口麓文 弥節人形浄 瑠璃資料館	都城市山之口町 山之口 2921 番地 1	平成 4 年度	鉄筋コンクリ ート	2,367 m ²	725 m ²
③	弥五郎どん 交流活性化 センター	都城市山之口町 富吉 1702 番地	平成 15 年度	木造	5,677 m ²	685 m ²
④	高城郷土資 料館	都城市高城町大 井手 2643 番地 5	平成 3 年度	鉄筋コンクリ ート	7,645 m ²	1,318 m ²
⑤	牧原古墳公 園	都城市高城町大 井手 3570	昭和 62 年度	木造	1,349 m ²	5 m ²
⑥	観音瀬便所	都城市高城町有 水国有林内	平成 16 年度	木造	8 m ²	8 m ²
⑦	都城島津邸	都城市早鈴町 18 街区 5 号	平成 21 年度	鉄筋コンクリ ート造ほか	15,091 m ²	1,810 m ²
⑧	大島畠田遺 跡歴史公園	都城市金田町 959	平成 28 年度	鉄筋コンクリ ート造・木造	25,687 m ²	43 m ²
総 計					/	5,620 m ²

② 施設の配置状況

都城市内の社会教育・文化施設の配置状況は次の位置図のとおりです。

【図書館】



【美術館】



【その他社会教育文化施設】



(3) 施設の管理等

事故等の重大な問題発生の回避、修繕や更新等の必要性の判断のために、劣化調査のほか、職員による自主点検を定期的を実施します。自主点検は、建物の日常的な自主点検や定期点検の内容などを取りまとめた「都城市公共建築物保全ガイドブック」により施設所管課において実施します。

(4) 施設の課題

① 図書館

都城市立図書館については、平成29年度に建物のリノベーションを実施し、平成30年4月に移転オープンしたことから、今後数年間は、大規模修繕等はありません。

高城図書館は、平成21年に高城生涯学習センター内に併設する形で建設されましたが、建設から10年以上経過し、施設器具等の劣化が認められる

状況になってきており、今後施設を維持していくための対策を施す必要があります。

② 美術館

美術館は1981（昭和56）年度に建設され、建設から35年以上経過しており、1999（平成11）年度から2000（平成12）年度にかけて増改築しているものの、今後改修を要する部分も増えてくると考えられます。

また、収蔵品は年々増えており、収蔵スペースの確保も課題となっています。

③ その他教育文化施設

最も古い都城歴史資料館及び牧原古墳公園トイレは、建築から30年が経過しています。全施設平均では建築後20年以上経過していますが、都城島津邸を構成する大半の建物群（本宅、外蔵、石蔵、剣道場、社）は、市指定文化財となっており、近世末から近代にかけての比較的古い建築物です。また、都城歴史資料館を構成する建物群の大半（資料館、茶室、城山大手門）、弥五郎どん交流活性化センターの建物群（本館、文化交流水俣駅）、牧原古墳公園（便所）、観音瀬便所、大島畠田遺跡歴史公園の四阿などの木造の施設については、今後改修が必要になってくると考えられます。

3 施設整備方針

（1）今後の施設整備の考え方

美術に関する資料の収集・保存・展示、研究施設、文化財の保存、歴史・文化遺産の情報の提供、市民ニーズへの対応、利用者数などの観点を総合的に勘案し、計画的な修繕・改修を行い、多様な人々が利用しやすい環境を提供していきます。

耐用年数到来時に、集約化・複合化・譲渡・廃止の可能性や立地適正化計画などと整合性を取りながら、人口推計に対応した適正な面積について、検討します。

ただし、耐用年数到来前であっても、老朽化等により建替えの時期を迎える場合、又、施設の利用状況や周辺環境・社会情勢の変化が生じた場合等に方針の検討を開始します。

① 図書館

生涯学習を担う施設としての役割、市民ニーズへの対応、利用者数などの観点を総合的に勘案し、必要に応じて計画的な修繕・改修を行います。

将来的な建替えの際は、利用者数等を踏まえて適正な面積にし、周辺施設との複合化・多機能化の可能性を検討します。

② 美術館

芸術文化振興を担う施設としての役割、市民ニーズへの対応、利用者数などの観点を総合的に勘案し、必要に応じて計画的な修繕・改修を行います。

将来的な建替えの際は、利用者数等を踏まえて適正な面積にし、周辺施設との複合化・多機能化の可能性を検討します。

③ その他社会教育文化施設

歴史文化振興、歴史文化遺産を保存する施設としての役割、市民ニーズへの対応、利用者数などの観点を総合的に勘案し、必要に応じて計画的な修繕・改修を行います。

将来的な建替えの際は、利用者数等を踏まえて適正な面積にし、周辺施設との複合化・多機能化の可能性を検討します。

(2) 個別施設方針

社会教育・文化施設の個別施設ごとの方針は次のとおりです。

① 図書館

NO	施設名称	今後の方針（2021（R3）～2025（R7））	H29～R28 維持更新費用 （単位：百万円）
①	図書館	市民の生涯学習の機会を提供する上で中心的役割を担っていることから、現状維持とする。 【参考 H29～R2実績】 2017（平成29）年度に民間施設を大規模改修し移転。	1,907
②	高城図書館	地域の生涯学習の機会を提供する上で中心的役割を担っていることから、現状維持とする。	(113)

② 美術館

NO	施設名称	今後の方針（2021（R3）～2025（R7））	H29～R28 維持更新費用 （単位：百万円）
①	美術館	市民の芸術活動を支援する上で中心的役割を担っており、また、郷土作家の研究拠点施設・近現代美術を中心とする文化財保存施設でもあるため、現状維持とする。	(991)

③ その他社会教育文化施設

NO	施設名称	今後の方針（2021（R3）～2025（R7））	H29～R28 維持更新費用 (単位:百万円)
①	都城歴史資料館	郷土の歴史、文化遺産に関する資料を展示しており、教育と文化振興に寄与する施設であり、現状維持とする。	(235)
②	山之口麓文弥節人形浄瑠璃資料館	郷土の歴史、文化遺産に関する資料を展示しており、教育と文化振興に寄与する施設であり、現状維持とする。	(210)
③	弥五郎どん交流活性化センター	郷土の歴史、文化遺産に関する資料を展示しており、教育と文化振興に寄与する施設であり、現状維持とする。	(183)
④	高城郷土資料館	郷土の歴史、文化遺産に関する資料を展示しており、教育と文化振興に寄与する施設であり、現状維持とする。	(330)
⑤	牧原古墳公園	郷土の歴史、文化遺産施設であり、教育と文化振興に寄与するため、現状維持とする。	(0)
⑥	観音瀬	郷土の歴史、文化遺産施設であり、教育と文化振興に寄与するため、現状維持とする。	(0)
⑦	都城島津邸	都城島津家史料をはじめとする貴重な文化財の保存と活用を進めていく上で中心的役割を担っており、現状維持とする。	(355)
⑧	大島畠田遺跡歴史公園	郷土の歴史、文化遺産施設であり、教育と文化振興に寄与するため、現状維持とする。	(0)

※今後の方針欄で「現状維持」としている施設は、計画期間内であっても、周辺環境・社会情勢の変化が生じた場合等に、方針転換をすることがあります。

※維持更新費用について

- ① 各施設の施設類型や延床面積、階数に応じて、部位・部材及びその数量を推定した単価により、修繕、大規模改修、建替えの周期を順に15年、30年、60年として推計している。また、設計委託費、外溝工事費、用地補償費、解体費等は含まない。ただし、床面積が100㎡未満の建物については、修繕及び大規模改修を行わず、建替えのみで推計している。
- ② 維持更新費用の括弧書き部分は、具体的な計画段階ではないため、現在の建物面積と同面積で建替えるものとして推計している。